

## ものづくり補助事業成果事例

## 高度情報化施工プロジェクト

事業主体となる公共工事を、情報技術（ICT）を活用し、施工することで建設現場の生産性向上を目指しました。ドローンや三次元（3D）スキャナー、3D建機を導入し着工前測量から、施工、施工管理、検査、納品までを一貫して行います。

## 事業取り組みの経緯

新事業計画班を社内各部署より選任し、使用機材メーカーの選定や現場活用までの計画工程などを具体的に決定していきました。その後、ものづくり補助事業活用計画を確定し申請、採択後は機材の発注を行いました。現場の担当者の専門教育も行いました。



ICT技術を活用した施工設計

## 実施内容

平成27年度ものづくり補助事業を活用して、油圧ショベルに搭載する、米国トリンプル社製の3Dバックホウガイダンスシステムや、中国のドローンメーカーDJI社の3D測量用ドローン1台を導入しました。ICT技術を建設現場に導入することで、測量・管理業務の省力化に加え、ドローンやクラウド・コンピューティングによる高精度での作業や進捗の確認が可能となりました。品質、機能、性能面で競争力を強化し、公共工事での利益確保と、国土交通省の工事成績評価の向上を目指しました。

## 事業取り組みの成果

ICTを用いた高度情報化施工プロジェクトを効果的に運用し、生産性を大幅に向上させました。4週8休制



ドローンを活用した3D測量



## 補助金活用のポイント！

国交省が推進する生産性革命プロジェクト「i-Construction（アイ・コンストラクション）」や働き方改革に率先して取んでいます。



（2016年熊本地震で被災した俵山トンネルルートの復旧工事にも参入）

の働き方改革にも取り組み、平成29年度は四つの工事現場で国交省から高い評価点を受けました。こうした評価を受けたことで、国交省から「平成30年度国土交通省九州地方整備局国土交通行政功労表彰・ICT工事優秀施工業者」を、熊本県からは「平成30年度くまもとブライツ企業賞」を受賞しました。



3Dバックホウガイダンスシステムを搭載した油圧ショベル

## 求める事業パートナー及び支援策

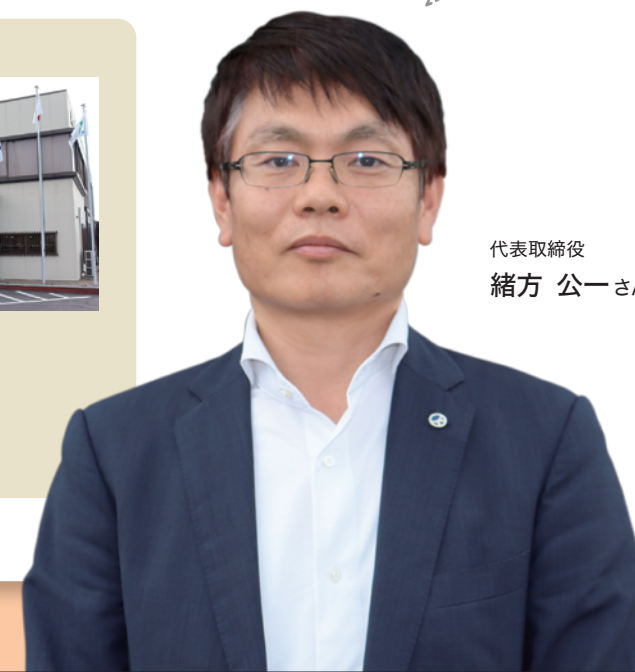
引き続き建設現場の生産性向上をはかり、建設業の働き方改革の達成の実現を目指します。2015年から5年間で30歳未満の社員が19人入社しています。将来のインフラ整備を担う若手社員の確保育成を目指します。

ICTを用いた高度情報化施工にいち早く取り組んだことで会社の技術力向上が進み、全社的な底上げを実現しました。引き続き、ICTを用いた高度情報化施工プロジェクトに積極的に取り組みます。

## COMPANY PROFILE

## 株式会社 緒方建設

代表者名 代表取締役 緒方 公一  
 設立年月 1966年12月  
 所在地 〒861-1324  
 熊本県菊池市野間口1097  
 TEL 0968-25-3089  
 FAX 0968-24-0870  
 URL <http://www.ogata.asia/>  
 資本金額 9800万円  
 従業員数 80人  
 業種 建設業

代表取締役  
緒方 公一さん